

船舶事故調査報告書

平成29年8月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	同乗者負傷
発生日時	平成28年7月17日 12時25分ごろ
発生場所	北海道留萌市 <small>るもい</small> 所在の浜中海浜公園西方の浅瀬 留萌灯台から真方位198° 2.3海里付近 (概位 北緯43° 55.5′ 東経141° 37.7′)
事故の概要	水上オートバイルージュは、航行中、浅瀬で立っていた同乗者に接触し、同乗者が負傷した。
事故調査の経過	平成29年1月25日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	水上オートバイ ルージュ、0.1トン 200-37813北海道、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型 同乗者
負傷者	軽傷 1人（同乗者）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西南西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せて遊走後、浜中海浜公園の砂浜（以下「本件砂浜」という。）付近の浅瀬で同乗者を降ろした。 本船は、船長が、本件砂浜に乗り揚げ可能な速力を得る目的で、いったん沖側に向けて発進し、右旋回した後、本件砂浜に向け進行したところ、降りた場所から移動せずに立っていた同乗者に接触し、同乗者が左大腿部挫創を負った。
分析	本船は、本件砂浜に向けて航行する際、船長が見張りを適切に行っていなかったことから、浅瀬で立っていた同乗者に接触し、同乗者が負傷したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、本件砂浜に向けて航行する際、船長が見張りを適切に行っていなかったため、浅瀬で立っていた同乗者に接触したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 常時適切な見張りを行うこと。